

セキスイの給湯器

コ-リッチ

深夜電力利用のセントラル給湯システム

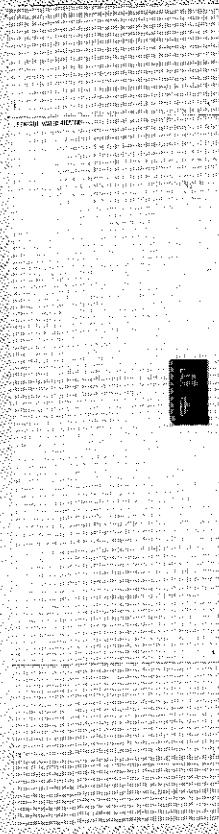
セキスイ電気温水器

いつまでも快適にお使いいただくために

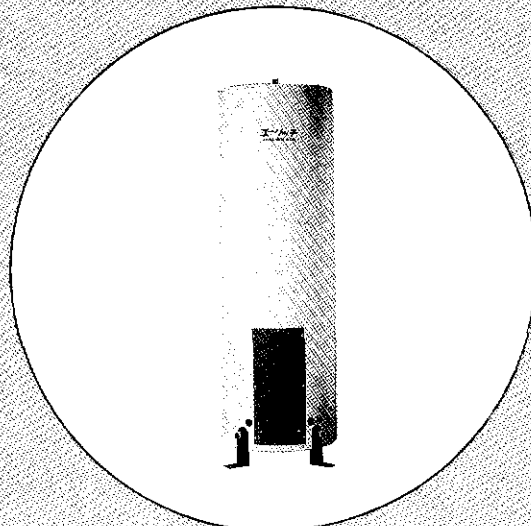
取扱説明書

RS-20S86・RS-15S86・MS-20S84・MS-15S84

(RS-20S56・RS-20S86K・RS-20S56K・KS-20S86・KS-20S56・KS-20S86K・KS-20S56K・RS-15S56)
(RS-15S86K・RS-15S56K・KS-15S86・KS-15S56・KS-15S86K・KS-15S56K・MS-20S54・MS-15S54)
()は特注品です。



RSタイプ



MSタイプ



このたびは「セキスイ電気温水器」をご購入いただきありがとうございました。

この説明書は、電気温水器の正しい取扱いかた、お手入れのしかたなどをまとめています。

快適にご使用いただくため、お使いになる前によくお読みください。また、お読みになった後は、保証書とともに見やすいところに保存してください。

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. ご注意とお願い	4
3. システム各部の名称とはたらき	6
4. 操作の手順	7
5. 調子がおかしいとき	9
6. お手入れのしかた	10
7. 保証とサービスについて	11
8. 仕様	12

お引き渡しの前に、配管、電気配線の点検及び試運転は完了しています。

ご使用前につきの点をご確認ください。なお、ご不審な点がございましたら、工事店にお問い合わせください。

- 配管および弁類は保温されていますか。
- アース工事がなされていますか。
- 電源工事がなされていますか。
- 保証書を購入店(工事店)からお受け取りいただけましたか。まだの場合は、購入店(工事店)にご請求ください。

1

安全上のご注意

つぎのことは必ず守ってください。

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した警告事項・注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

図記号の例



分解禁止

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は分解禁止を示します。



感電注意

このような絵表示は、「注意」していただく内容です。
左図は感電注意を示します。



アース工事

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図はアース工事を示します。

警告

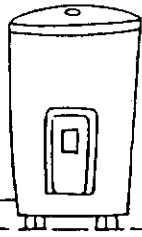
アース工事がされているか確認すること。

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



アース工事の確認

アースの取付けは販売店にご相談ください。



OK



前面カバーは開けないこと。

感電のおそれがあります。

漏電しゃ断器のテストおよびリモコンや本体の切替えスイッチ以外は手を触れないでください。



前面カバーは開けない



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと。

修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

故障の場合は販売店にご相談ください。



分解禁止

販売店又は工務店で



警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと。



ガス類引火物は近づけない

ガス漏れなどがあった場合、電気部品のスパークで発火することがあります。



給湯時は湯水混合水せんに手を触れないこと。



給湯時水栓にさわらない

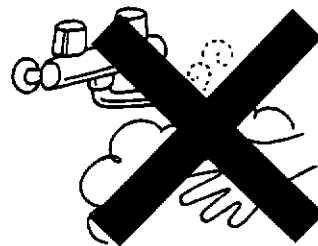
熱湯でやけどするおそれがあります。

湯水混合水せんをご使用の場合は、まず水側バルブを開き、徐々に湯側バルブを開いて湯温を調節してください。また止めるときは湯側バルブを先に閉めるほうが安全です。

特に朝の使いはじめは、湯側から空気の混ざった熱湯がでることがあります。

水栓は湯水混合水せんを使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタット付混合水せんなどの使用をおすすめします。

断水中にシャワーの水を使わないでください。

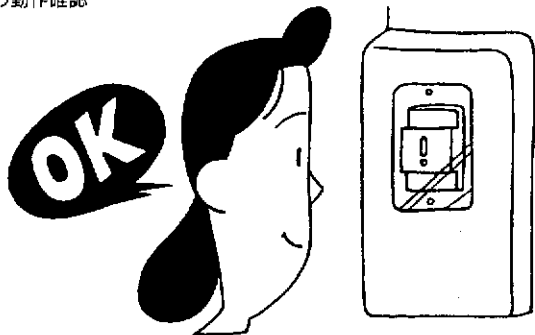


漏電しゃ断器の動作を確認すること。



漏電しゃ断器の動作確認

漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電のときに感電するおそれがあります。故障の場合は販売店にご相談ください。



排水時は配管や排水に手を触れないこと。



熱湯注意

逃し弁点検時やタンク排水時は、排水管排水に手を触れないでください。やけどすることがあります。

注意

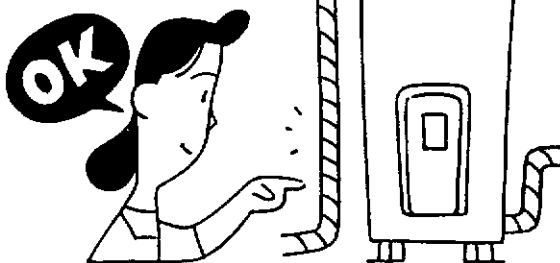
凍結防止対策の確認をすること。



凍結防止の確認

配管が凍結して破損するとやけどするおそれがあります。

凍結防止工事、保温工事は販売店にご相談ください。



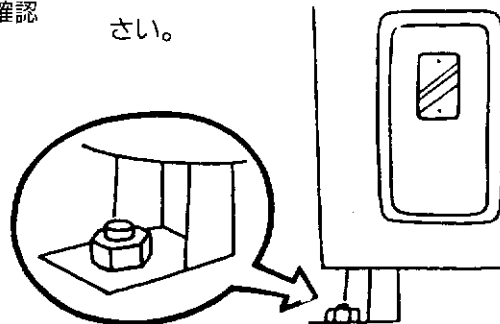
温水器の脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること



脚固定の確認

地震などで本体が倒れてけがをすることがあります。

脚固定がない場合は販売店にご相談ください。



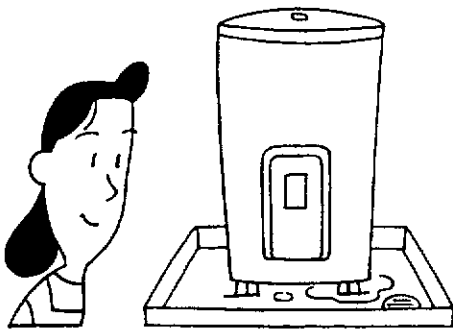
⚠ 注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること。



排水処理の確認

万一水漏れが起きた場合、階下などに大きな被害をおよぼすおそれがあります。販売店にご相談ください。

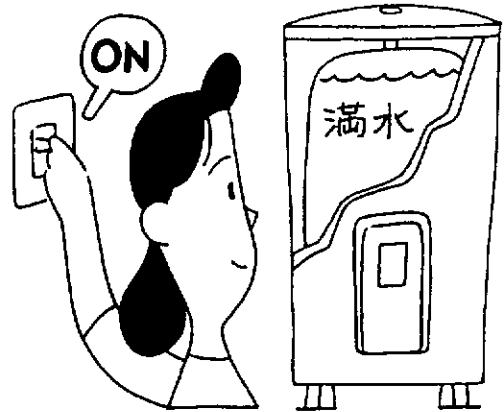


通電は満水状態にしてから行なうこと。



満水で通電する

タンクに水を入れずに通電すると過熱して故障の原因となります。故障の場合は販売店にご相談ください。

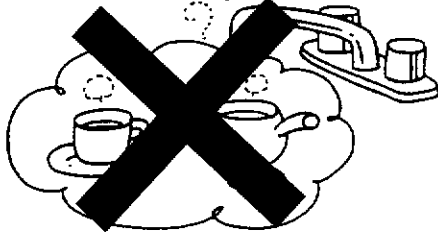


お湯は飲用としては使用しないこと。



飲用しない

配管材料の劣化により水質が変化した場合、下痢、腹痛等、体をこわすおそれがあります。

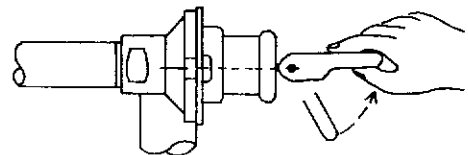


逃し弁の点検をすること。



逃し弁の点検

逃し弁の作動不良の場合配管漏れや、やけどをすることがあります。故障の場合は販売店にご相談ください。(詳細は10ページのお手入れのしかたを参照してください。)

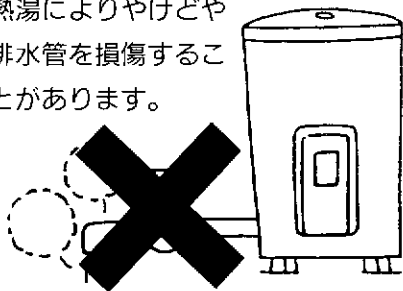


タンクの熱湯は直接排水しないこと。



熱湯排水しない

熱湯によりやけどや排水管を損傷することがあります。



1ヵ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの水を排水すること。



長期不使用時の処置

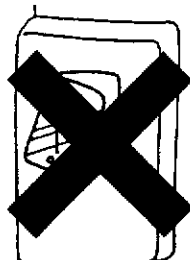
水質が変化することがあります。(詳細は4ページのご注意とお願いを参照してください。)

温水器点検窓(電源操作部)の点検カバー(操作部カバー)は閉じておくこと。



操作部のカバーは閉じる

開いていると雨やごみが入り漏電・感電の原因となります。



ご注意とお願い

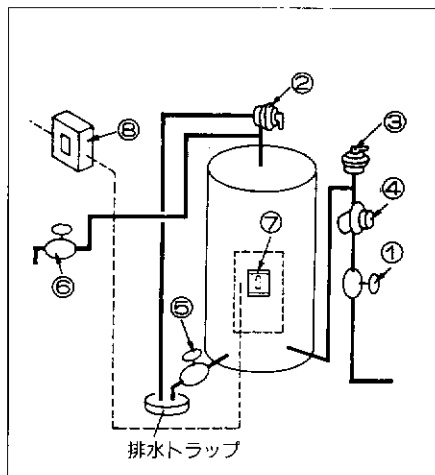
1 長期間ご使用にならないときは、電源を「切」にしてタンクの中の水を抜き、空にしてください。再使用のときは、タンクの中の水を入れかえてから使用してください。



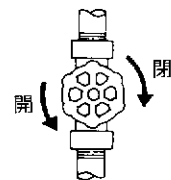
長期不使用时
の注意

- 1ヶ月以内であれば、給水を止め、漏電しゃ断器を「切」にしてください。
- 1ヶ月以上であれば、電源を「切」にしてタンクを空にしてください。
- タンク中の水は、長期間滞留すると腐ったりすることがあります。

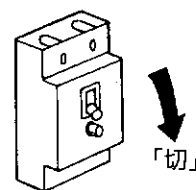
水抜きの手順



1 温水器の専用止水栓①を閉める。
減圧弁の負圧弁から水漏れがないか確認
してください。
(10ページのストレーナーの清掃参照)



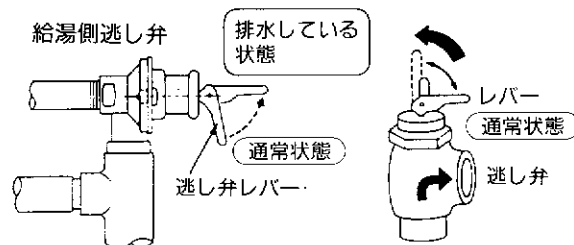
2 電源を切る。
漏電しゃ断器⑦、配線用しゃ断器
(6ページ⑨)を「切」にしてく
ださい。



3 逃し弁⑧のレバーを上げる。
逃し弁のレバーを立てることによ
り、水を出したり空気を取り入れ
たりします。通常状態では、レバー
が下がった状態です。



熱湯注意



4 排水栓⑤を開ける。
30分程度でタンクは空になります。排水栓の先のパイプから水が出なく
なったことを確認してください。

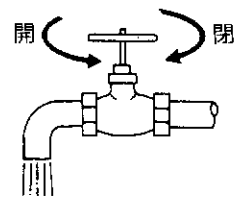


熱湯注意



熱湯排水しない

- 排水トラップから水が溢れないようにバルブの開きぐあいを調整してください。
- 排水するときは、一時浴槽に給湯し水でうすめて（低温にして）排水してください。



5 再使用するとき

逃し弁⑧のレバーを上げる。→止水栓①を開ける。→しばらく水を流す。→排水栓を締める。→15～20分後に逃し弁⑧から水が出るので逃し弁のレバーを下げる。→電源を「入」にする。の順番に進めてください。

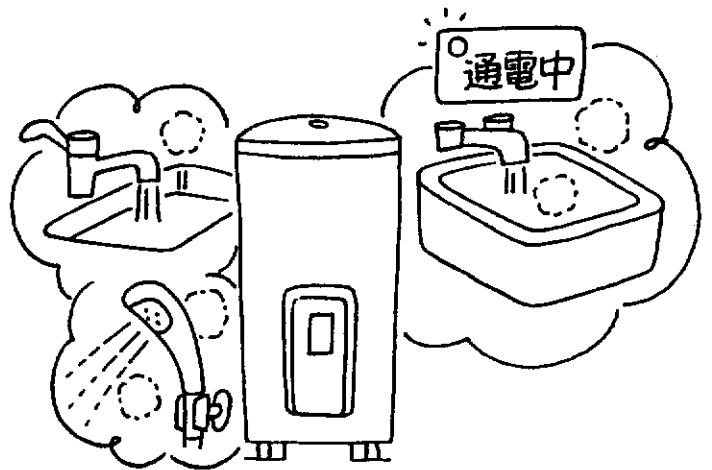


満水で
通電する

- タンクが満水になったかどうかは、湯水混合水せんの湯側から空気が抜けた後、水が出ることを確認してください。
- 電源は、漏電しゃ断器⑦、配線用しゃ断器を「入」にしてください。

2 つぎのような使い方は、湯量不足の原因になります。

- 来客の多いお宅。
- 間隔を開けて入浴をする。
- 雑用水に多量のお湯を使う。
- 食器洗いや洗濯などでお湯を流し続ける。
- 毎回フロのお湯を入替える。
- 朝夕2回入浴する。
- 深夜電力通電中に入浴する。
- 洗髪するときシャワーをながし続ける。



3 万一水漏れが生じたときは、温水器の止水栓を閉じてください。その後すぐに、セキスイまたは工事店、サービス店へご連絡ください。また本体の底面や配管が漏れていないか点検してください。特に集合住宅での漏水は階下へ被害をおよぼすことがあります。



漏水処理の
確認

4 断水中にシャワーの水を使わないでください。

- 熱湯が出て、やけどのおそれがあります。



熱湯注意

5 冬期に水道管が凍結するところでは、凍結防止対策をしてください。

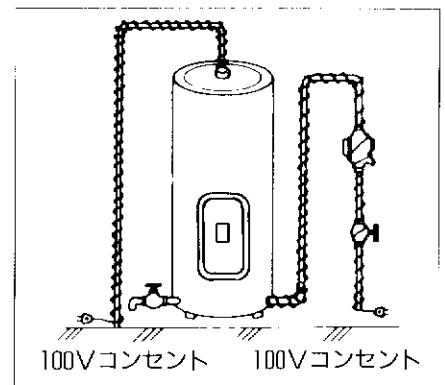
- 冬期気温が0°C以下になると配管などの凍りやすい部分の水が凍り始め0°C以下の気温が続くと凍結による体積膨張のため、減圧弁などが破壊するおそれがあります。水道管がよく凍結するところでは凍結防止ヒーターで保護する施工を販売店にご相談ください。



凍結防止の
確認

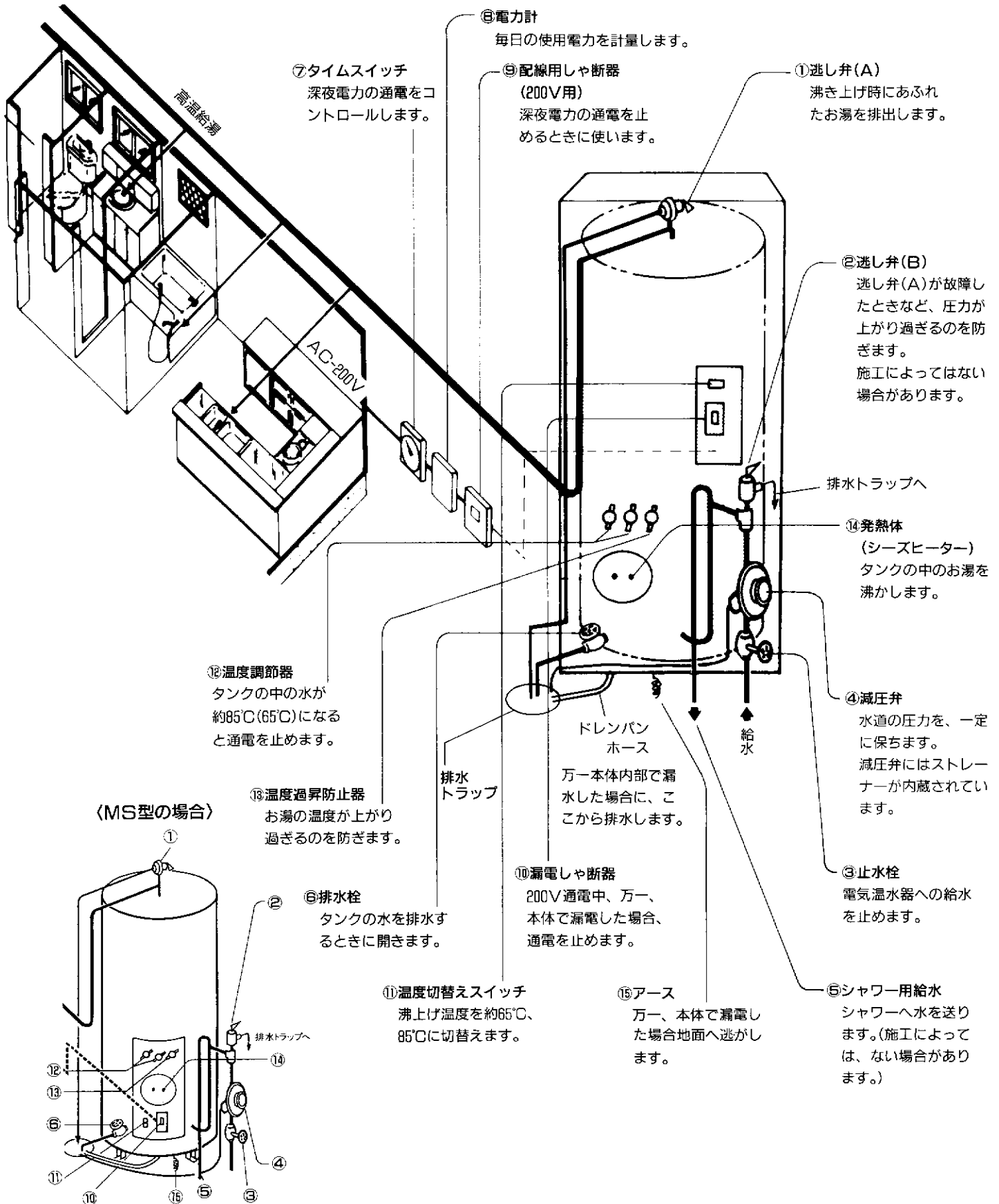
凍結防止工事の例

- 給水・給湯配管の凍結防止には、凍結防止ヒーター(電熱)の工事を工事店に依頼してください。



各部の名称とはたらき

ご使用になる前に、システム各部の名称とそのはたらきを、じゅうぶんにご承知おきください。主要部はつぎの通りです。

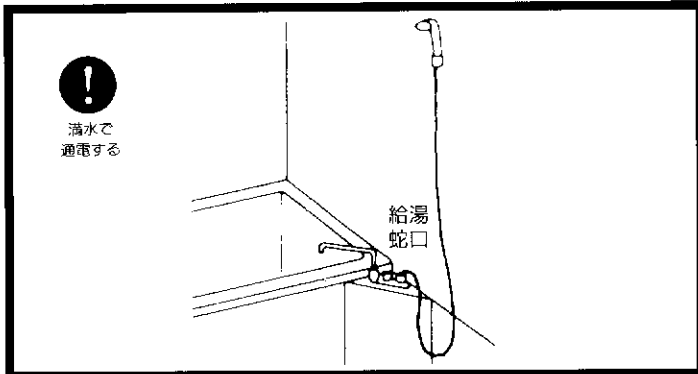


4

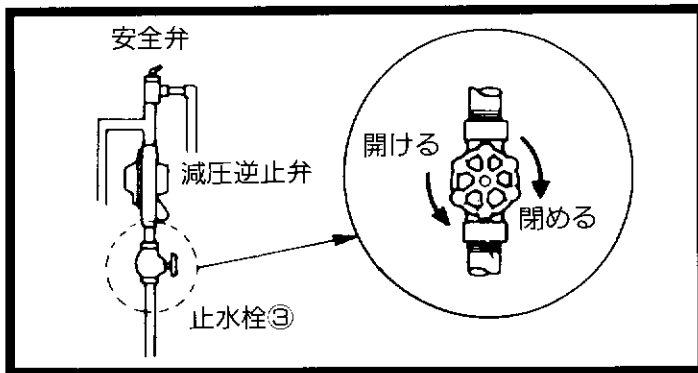
操作の手順

はじめてご使用になる場合は、つぎの手順で操作をすすめてください。

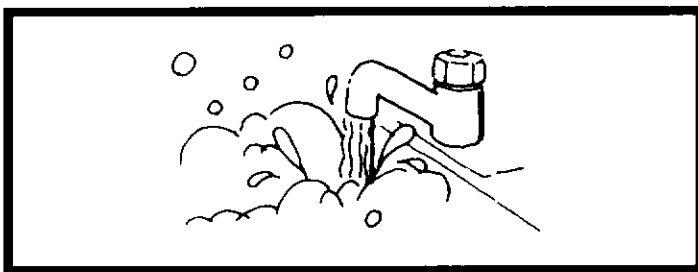
1 温水器のタンクの中が満水かどうか確かめてください。



- 台所・洗面所・浴室・洗たく室のうち、どれかひとつの給湯せんを開き、水が勢いよく出てくればタンクは満水です。

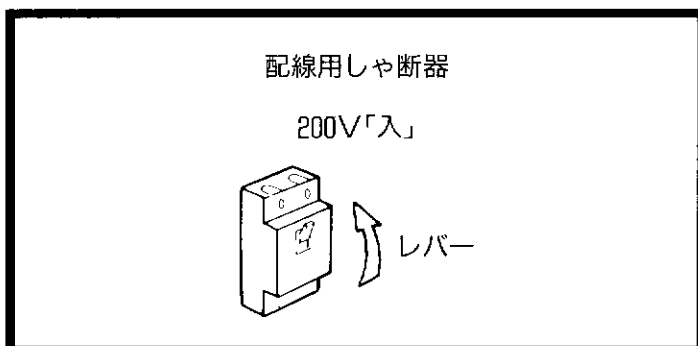


- 給湯せんを開いても水が出てこない場合は、止水栓③が開いているかどうか確認してください。閉じていた場合は、開いて満水になるまで待ってください。この止水栓を開いても、配管・温水器内の空気が抜けるまで水は出ませんから、しばらく開いたままにして水が出ることを確認してください



- 温水器内、配管内部にゴミなどが入っている場合があります。ゴミなどがなくなるまで、給湯せんを開いて水をしばらく出したままにし、閉めてください。

2 屋外か室内の分電盤に設けられている配線用しゃ断器200V(6ページ⑨)が、「入」になっていることを確認してください。

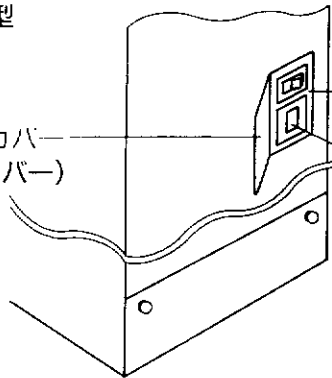


- 200Vは、スイッチが「入」の状態でないとお通電しません。

3 温水器の漏電しゃ断器を「入」にしてください。

RS型・KS型

点検窓カバー
(操作部カバー)



点検窓
(電源操作部)

漏電しゃ断器

MS型

漏電しゃ断器

点検窓
(電源操作部)

点検窓カバー (操作部カバー)



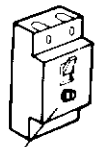
漏電しゃ断器の
作動確認

漏電しゃ断器のテスト手順

1) 漏電しゃ断器のテストをしてください。

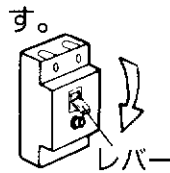
注200V通電時以外は、ボタンを押してもレバーは下がりません。

(1) テストボタンを押す。



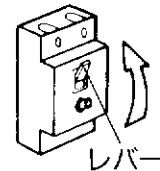
テストボタン

(2) テストボタンを押して
レバーが下れば正常で
す。



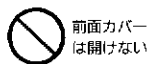
レバー

(3) 3回テストして正常であれば、再び
レバーを上げて「入」にします。



レバー

4 温度切替スイッチの高・低 (85°C・65°C) のいずれかを押してください。



前面カバー
は開けない



操作部のカバ
ーは閉じる

RS型 KS型

温度切替スイッチ

低温 高温



MS型

温度切替スイッチ

高温

低温



- 右側(上側)を押すと85°C位の高温に沸き上がります。
- 左側(下側)を押すと65°C位の低温に沸き上がります。

● 水と湯を混合して45°Cで使える湯量(計算値)のめやす。

	冬用	中間用	夏用
湯温	85°C	85°C	65°C
水温	5°C	10°C	20°C
150 Q	約300 Q	約320 Q	約250 Q
200 Q	約400 Q	約430 Q	約360 Q
220 Q	約440 Q	約470 Q	約400 Q

● 沸き上げ温度

(高) 約85°Cと(低) 約65°Cに切替えられます。上の湯量のめやすを参考にして残湯量と季節によって選んでください。

5 漏電しゃ断器「入」で、温水器はタイムスイッチの働きで自動的に通電し、お湯を沸き上げます。

5

調子がおかしいとき

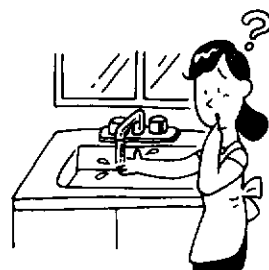
つぎのようなときは、故障でないこともありますので、調べてください。

症状	確認していただきたいこと	処置
----	--------------	----

お湯が出ない。水が出てくる。

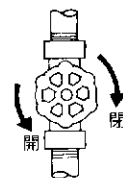
- 配線用しゃ断器が「入」になっていますか。
- しゃ断器を「入」にしてください。
- 漏電しゃ断器が「入」になっていますが、激しい雷などで切れることがあります。

! 漏電しゃ断器の動作確認



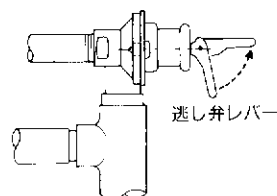
水も湯も全く出ない。

- 止水栓が閉っていませんか。
- 止水栓を開けてください。
- 冬期、配管などが凍結していませんか。
- 解冻を待ってください。今後は販工店に凍結防止工事をご相談ください。



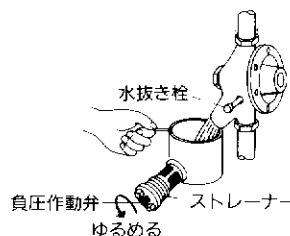
お湯の量が不足する。

- 給湯せんからお湯漏れしていませんか。
- 給湯せんはしっかり閉めてください。
- 逃し弁の排水管・タンク付属逃し弁から水漏れしていませんか。
- 逃し弁のレバーを2~3回上げ下げしてみてください。止まらないときは、止水栓を閉めてセキスイへご連絡ください。
- !** 熱湯注意 **!** 逃し弁の点検
- 湯温の設定が「低」になっていませんか。
- 「高」に設定してください。



お湯の出方が少ない。

- 減圧弁・逆止弁のストレーナーがごみで詰っていませんか。
- ストレーナーの洗浄をしてください。(減圧弁などの水抜き栓の漏れはしっかり閉めてください。)



沸き上げ温度が低い。

- 冬期水温が低いとき(10℃以下)で残湯量が少ないとき(20ℓ以下)の場合90℃に沸き上がりません。
- 効率良くご使用ください。
- 深夜電力の通電中にお湯を使用していませんか。

お湯が白く濁って見える。

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、全く無害なものです。

電気料金が高い。

- 逃し弁の排水管から水漏れしていませんか。
- 逃し弁のレバーを2~3回上げ下げしてみてください。止まらないときは止水栓を閉めてセキスイへご連絡ください。



6

お手入れのしかた

ふだんのご使用に際しては、手間いらずの電気温水器ですが、いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。つぎの点検ポイントをご参考に、じょうずなお手入れをしてください。

点検のためのポイント

タンク清掃	タンク内には、長時間使用すると水あかなどがたまりまます。
逃し弁の作動	逃し弁にゴミがつまってお湯が漏れると湯量不足になります。また湯あかが付着して作動不良になるとタンクの破損の原因になります。
漏電しゃ断器テスト	万一の漏電の際に正常に作動するよう点検します。

項目	時期	点検とお手入れのしかた
タンク内の清掃	1ヵ月に1回	<p> </p> <p> (1)漏電しゃ断器を切ります。(200V) (2)止水栓③を閉じます。 (3)排水栓⑤を開けます。 </p> <p> (4)逃し弁①のレバーを上にあけてタンクに空気が入るようにして、1~2分排水してください。 注お湯がでることがありますので、やけどに注意してください。 (5)バケツ一杯程度出た水がきれいになったら、排水栓を閉じ、逃し弁を元にもどしてタンクを満水にしてください。 (6)給湯口から湯または水が出たら満水です。 給湯せんを閉じ、漏電しゃ断器を「入」にしてください。(200V) ※3年に1回程度はタンクの水を全量排水し、タンク中の清掃をしてください。 </p>
漏電しゃ断器のテスト	1ヵ月に1回	<p> </p> <p> (1)くわしくは8ページを参照してください。 <small>漏電しゃ断器の動作確認</small> </p>
逃し弁の作動テスト	1ヵ月に1回	<p> </p> <p> (1)逃し弁のレバーを上げて排水操作をくり返して、水あかやゴミなどを洗い流してください。 (2)操作後は、逃し弁のレバーを元に戻して排水が止まることを確認してください。 注逃し弁は上図①②ともテストしてください。 </p>
ストレーナーの清掃	必要時	<p> お湯の出が悪くなったとき、そのつどストレーナーを清掃してください。 (減圧弁④についています) </p> <p> (1)止水栓③を閉じます。 (2)ストレーナーのフタをはずし、中のあみを水で洗ってください。 注ストレーナーをはずすとき2~3ℓの水が出ますからバケツなどで受けてください。 (3)元通りに組込んでください。 (4)止水栓③を開けてください。 </p>
配管の点検	1年に1回	<p> (1)配管保温材の破損や配管・弁類からの水漏れがないか。 (2)排水トラップからオーバーフローしてないか、異常のある場合は工事店へ修理を依頼してください。 </p>

1 保証書について

必ず「販売店（工事店）」「据付日」などをご確認のうえ、保証内容をよくお読みいただき大切に保存してください。

2 保証内容について

- 保証期間は据付日から2年間です。
- 正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとずき「無償修理」いたします。
- 無償期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

3 点検と修理について

分解禁止

- 少しでもご不審の点がありましたら、販売店または当社指定のサービス店に点検・修理を依頼してください。
- 本品をより長くご使用いただくため、据付後、定期的な点検をご依頼ください。

4 補修用部品の最低保有期間について

- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後最低7年間（BL品は10年）保有しています。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 部品の交換時期のめやす

- 温水器の部品の寿命は、沸き上り温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。

部 品 名	補修時期のめやす	補修方法	補 修 の 必 要 性
ヒ ー タ ー	5～8年	交換	水中の塩素などによって錆が発生し、強度が低下したり穴があいたりすることがあります。
フランジパッキン	5～8年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシール性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
逃 し 弁	3～5年	交換	
減 圧 弁	5～8年	交換	太陽の紫外線によって劣化することがあります。
配管保温材	3～5年	補修	長期間の使用により、金属疲労が生じ接触部が損耗することがあります。
温度過昇防止器	5～8年	交換	
温度調節器	5～8年	交換	
電磁接触器(リレー)	5～8年	交換	

角型

形式	RS-22S86	RS-20S86	RS-20S56	RS-15S86	RS-15S56
タンク容量 (Q)	220	200		150	
定格 発熱体単相200V	2.8kW	2.4kW	4.4kW	2.1kW	3.4kW
沸き上がり温度	約85°C/約65°C				
重量 (満水重量) (kg)	55(275)	53(253)		50(200)	
外形寸法	巾 500mm 奥行き 505mm 高さ 2035mm	500mm 505mm 1900mm		450mm 505mm 1900mm	
安全装置	漏電しゃ断器・温度過昇防止器・温度調節器				
発熱体	シーズヒーター				
配管口径	給水3/4・給湯1/2・排水3/4				
設置場所	屋内				

丸型

形式	MS-20S84	MS-20S54	MS-15S84	MS-15S54
タンク容量 (Q)	200		150	
定格 発熱体単相200V	2.4kW	4.4kW	2.1kW	3.4kW
沸き上がり温度	約85°C/約65°C			
重量 (満水重量) (kg)	41(241)		34(184)	
外形寸法	巾 530mm 奥行き 530mm 高さ 1760mm	530mm 530mm 1760mm		530mm 530mm 1415mm
安全装置	漏電しゃ断器・温度過昇防止器・温度調節器			
発熱体	シーズヒーター			
配管口径	給水3/4・給湯3/4・排水3/4			
設置場所	屋内			

積水化学工業株式会社

住設事業部 大阪市北区西天満2-4-1 〒530

道央営業所 ☎ 011(736)8837	横浜営業所 ☎ 045(311)6667	岡山営業所 ☎ 086(222)0651
仙台住宅資材営業所 ☎ 022(267)3301	新潟営業所 ☎ 025(244)9261	広島住宅資材営業所 ☎ 082(264)5351
北東北支店 ☎ 0196(24)0009	長野営業所 ☎ 0262(26)6510	山口営業所 ☎ 08397(2)6877
福島営業所 ☎ 0249(31)1351	松本営業所 ☎ 0263(33)3931	松江営業所 ☎ 0852(26)6800
東京住宅資材営業所 ☎ 03(3434)9330-9231	静岡営業所 ☎ 054(254)4422	高松支店 ☎ 0878(22)1011
水戸営業所 ☎ 0292(26)0501	名古屋住宅資材営業所 ☎ 052(583)6115	松山営業所 ☎ 0899(31)3261
関東営業所 ☎ 048(646)0165	岐阜営業所 ☎ 058(266)7261	福岡住宅資材営業所 ☎ 092(725)9280
栃木営業所 ☎ 0286(33)4550	大阪住宅資材営業所 ☎ 06(365)4301	大分営業所 ☎ 0975(36)4131
群馬営業所 ☎ 0272(52)6588	北陸支店 ☎ 0762(31)4244	熊本営業所 ☎ 096(322)3811
千葉営業所 ☎ 043(227)8222	京都営業所 ☎ 075(211)8461	宮崎営業所 ☎ 0985(22)8115
多摩営業所 ☎ 0425(28)0467	神戸営業所 ☎ 078(251)6639	鹿児島営業所 ☎ 0992(58)4511